

# 第五章 ビジネスの新ルール

---

西谷沙紀

①ベビーブーム世代の支出力がピークに達するからといって、この10年間に消費者主導のにおか景気は起こりにくい

②若い世帯向けの商品やサービスを生産する企業はせっぱ詰まる

③西側人口の高齢化は消費者需要の内訳を変える

●若い世帯

→子育てと住宅取得に奮闘中

→買い物がどうしても必需品ばかりに集中

●高齢者世帯

→予算を自由に使える

※家に必要なものはすべて揃え終わっている

→健康管理、資金の蓄え、娯楽

薬品および化粧品会社  
金融サービス産業  
娯楽産業



# 大勝

- ・50歳を超えると病気の発生率高まる一方、40代、50代は若い時の健康なからだや生活にすがりつきたい→需要アップ
- ・退職資産の需要押し上がる→投資率アップ???
- ・中年から50代後半に達すれば、自由に使える時間・お金が増え、余暇を渴望する→需要アップ

20代の若者が  
ターゲットの企業  
(ビール市場)



# 大打撃

- ターゲットが行方不明になる→需要ダウンorなくなる

# マクドナルドは大人になれなかった

## ◎ 「中年の危機」

ハンバーガー  
マーケット

多様化

fast food  
market

⇒ アメリカ文化との関連性失う

# リーバイス・ナイキの思わぬ苦戦

- ◎ 若者のファッションの変化
  - ◎ 競争の激化
  - ◎ ターゲットである若者人口の減少
- ⇒ 既存の客を除外せずなおかつ新規に市場に入ってくる消費者にアピール！



# 小売業と文化革命

- ◎人口統計の重要性！
- ◎「年齢」の意義の変化
- ◎対応策  
→事業多角化、海外進出



# マクドナルドの高齢化対策

- ・ 高齢者採用  
⇒80歳代のクルー
- ・ 24 h 宅配サービス  
⇒試験的に実施BUT！課題も...



# キッコマン

- ◎ ①海外に出ていく
- ◎ ②付加価値の高いものを
  
- ◎ 外国人向けHP
  
- ◎ 食育活動




# 第6章 文化改革 続



小池文乃

# 世代間の闘争が起きる？

ベビーブーム世代  X世代

でも、家族の絆は強い！！

利己主義 < 利他主義



# 世代の価値観には年齢が影響する

イギリスのテレビ番組『42アップ』

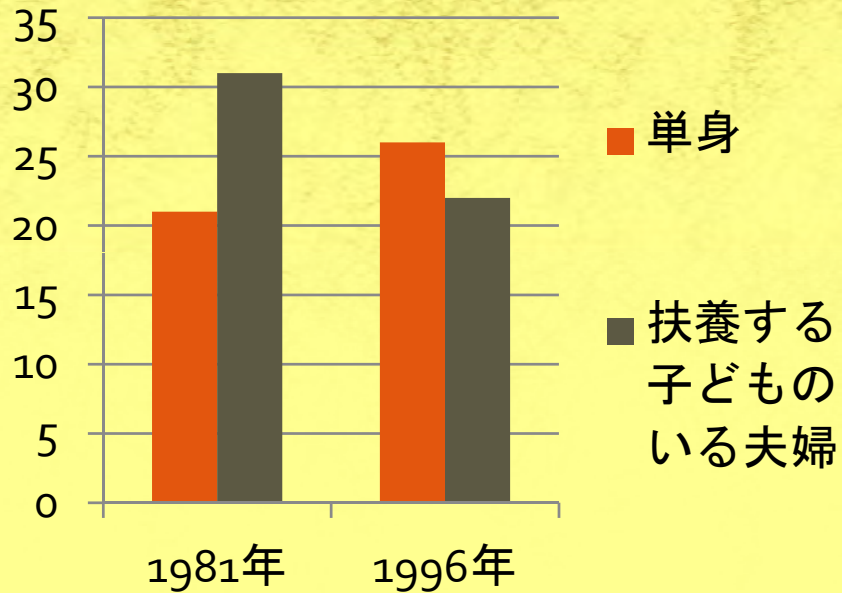
当初の意図 ・ ・ ・ 人生に与える階級の影響を例証すること。

35年後 ・ ・ ・ 年齢と経験が影響をもたらす。

価値観の変化は30代半ばまでには起きているはず！！



# レインボー社会



## 貢献しているもの

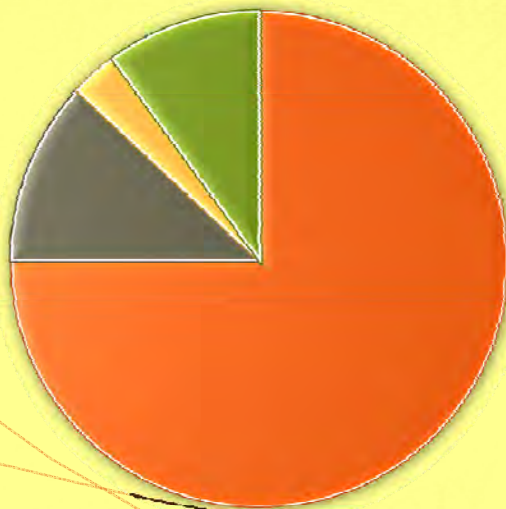
- 独身を通す人増加
- 離婚率増加
- 移民増加



# レインボー社会

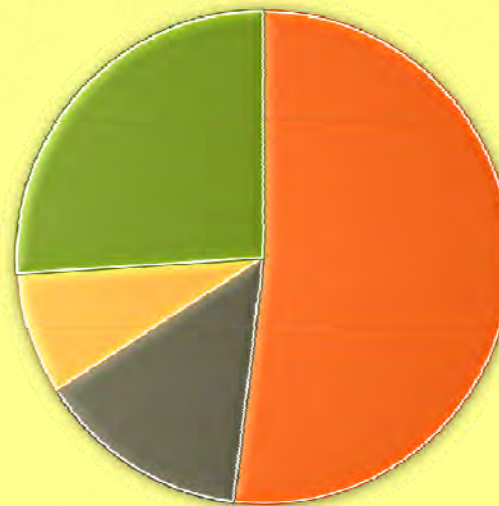
アメリカの新たな人口状況

1995年



- 白人
- 黒人
- アジア
- ヒスパニック

2050年



- 白人
- 黒人
- アジア
- ヒスパニック



# 高齢化社会にも若者文化

~~年齢区別~~

- ・ 世代モデルを使う。  
(VW)
- ・ X世代にもアピール
- ・ 若者向け商品のcm

若者文化は安泰！！





- 新たな時代は若い世代によって用意される。
- 注目の世代「エコーブーム世代」
- レインボー社会へのマーケティング
- 文明改革が起こる。

